

# 感染対策

旭川市医師会  
はやし内科胃腸科小児科医院

## 林 英樹

2020年コロナに明け暮れた1年であったが、それでも夏期の比較的落ち着いた時期を利用して、来るべく冬に来るであろう、インフルエンザと新型コロナウイルスへの感染対策の準備をした。非接触とゾーニングを念頭に置き、スタッフと知恵を絞った。写真にて説明する。

- ① 時間外通入口を検査専用玄関とした。
- ② 靴を脱がず検査BOXの窓に向かって着席してもらう。
- ③ 検査は窓から患者を見ながら、その下より両手のみ出し行う。
- ④ 採血をその穴より腕を出して行う。また、Spo2も同様にして測定する。
- ⑤ 両サイドのテープの内側をレッドゾーンとし、その場でPPEを着脱する。
- ⑥ 扇風機にて送風する。
- ⑦ 一般外来は風除室にて手指消毒の後、スリッパに履き替える。スリッパはUVにて消毒、定期的に裏表を洗浄し、アルコール消毒ののち庫内

でUVにより消毒。UVは二つの診察室と特別待合室に設置している。

- ⑧ 受付と会計は別の窓口とし、非接触型の体温測定を行う。
- ⑨ 入室と退室はなるべく触れ合わないよう矢印でガイド。
- ⑩ 常に触れる場所は消毒を心がけた。また、待合室は中央をカーテンで仕切り、手前を有症状者、奥を慢性疾患用とした。
- ⑪ スタッフはPPEで常に防御している（写真は当番医の時）。
- ⑫ 開業医ができる範囲で感染を防ぎ、スタッフに安心して働いてもらうことが重要と考えている。
- ⑬ 一般細菌についても定期的に場所を替え検査している。

